

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2008-228585(P2008-228585A)

【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2008-039

【出願番号】特願2007-69054(P2007-69054)

【国際特許分類】

C 12 M 3/00 (2006.01)

C 12 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 12 M 3/00 A

C 12 M 1/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月23日(2010.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

温度応答性高分子を有する細胞付着面が設けられた細胞培養容器であって、

前記細胞付着面を部位選択的に加熱して、該細胞付着面からの細胞の部位選択的剥離を行うための加熱手段を有する

ことを特徴とする細胞培養容器。

【請求項2】

温度応答性高分子を有する細胞付着面が設けられた細胞培養容器を備えた細胞培養装置であって、

前記細胞付着面を部位選択的に加熱して、該細胞付着面からの細胞の部位選択的剥離を行うための加熱手段と、

培養液の温度を細胞が剥離する温度まで冷却するための冷却手段と、

前記加熱手段での前記細胞付着面の部位選択的加熱を制御するための制御手段と、
を有する

ことを特徴とする細胞培養装置。

【請求項3】

前記細胞付着面における加熱部位を選択するための加熱部位選択手段を更に有し、該加熱部位選択手段により選択された部位の加熱を前記制御手段から指令する請求項2に記載の細胞培養装置。

【請求項4】

前記加熱部位選択手段が、前記細胞付着面での細胞付着状態の画像を取得する画像取得手段を有する請求項3に記載の細胞培養装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明にかかる細胞培養容器は、培養液や洗浄液などを付与可能な細胞付着面を有する。この細胞付着面は温度応答性高分子を有し、温度によって細胞の付着性が可逆的に変化する機能を有する。更に、この細胞培養容器は、細胞付着面を部位選択的に加熱可能な加熱手段を有している。この加熱手段により、細胞付着面の任意の部位を加熱することが可能となる。